

木材価格市況標準相場

令和6年6月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	2
北洋材・北欧材	1
合 板	1
(2) 値下げ品目	2
米 材 製 品	2

○今月の市況動向

5月の商況は、荷動きは低調のままとの報告が多くを占めた。プレカット工場の稼働率は1～3月に比べると多少良くなったが、まだまだ十分な受注状況ではないとの報告であった。

(国産材) 秋田杉原木では、中国木材(株)能代工場の集荷量が1万m³から2万m³に増えたにもかかわらず、価格が下落した。構造材では先月同様に荷動きは悪いとの報告。役物関係では、役柱10.5cm角は需要も少ないが、供給量もかなり少ない為、問い合わせが増えているとの報告もあった。

(輸入材) 赤松40×30上級グレードは、引合いは続いており値上り品目となった。北欧材では、喜望峰回りの船の順調な入荷が続いている。限定的だが、スエズ運河航路を再開する船会社もあるとのこと。米材製品では、米松、榎共に赤字での販売が続いており大変厳しい状況。広葉樹では、ナラ材、ホワイトオーク材が値上がり傾向にあり、安価なレッドオークが増えているとの報告。

(合板) 輸入合板では、塗装型枠用合板を中心に潮目が変わりつつある。国内針葉樹合板では、生産・出荷量共に前年は超えているが、市況は盛り上がり欠けているとの報告であった。